



看護ケア推進たより 19号

2018年8月



看護の日のイベントを行いました！！

旧厚生省により、1990年近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日に「看護の日」が制定されました。今年、約10年ぶりに2階ラウンジにて患者さんやご家族などどなたでも参加できる「看護の日」のイベントを開催しました。今年のテーマとして“こけないからだを手に入れよう”として、ロコモ度テスト及びロコモ体操、認定看護師による急変時の対応



～もしも家族が倒れたら～、専門看護師による認知症相談窓口・緩和ケア相談窓口、看護師による身体測定・血糖測定などを行いました。参加していただいた方から、「普段できない体験もあり楽しかった。」「血糖を測定する機会がなく値が良かったので嬉しかった。」など声を聞くことができました。私たちもJCHOのマークにちなんだお揃いのブルーのポロシャツを着て、普段と違った形で患者さんと接することができ楽しい時間を過ごすことができました。(教育担当看護師長 村上博美)



ロコモコーナー担当看護師

「看護の日」に健康講座「もしも家族が目の前で倒れたら」という内容で来院の患者・家族の方々に一次救命処置のお話と演習をさせていただきました。主に救急車への通報と胸骨圧迫を一緒に人形で体験していただきました。

今年4月に京都府舞鶴市の大相撲春巡業中に土俵上で救命処置が行われたという出来事もあり、多くの方々が興味を持って下さり、参加してくださいました。体験の中で「一人でするのは大変やな。」「何かおかしかったら119番やな。電話の近くに書いてくわ。」などの言葉が聞かれ、短時間でしたが一次救命処置を知っていただく機会になりました。これからも地域の皆さまへ健康づくりのお手伝いができるよう努力していきます。(救急看護認定看護師 松山佳子)



がんばる♥ジェネラリスト

今回は「がんばる♥ジェネラリスト」というテーマで、JCHO 大阪病院の看護を支えてくれている看護師の紹介をします。ジェネラリストの皆さんがどのようなキャリアを積み重ね、今活躍されているかを知っていただき、今後の皆さまのキャリアアップの参考にさせていただければと思います。



12階西病棟看護師 大橋康平看護師

私はこれまでに心臓血管外科・循環器・内科の混合病棟、ICU、救急外来、消化器外科病棟を経て、現在整形外科病棟で勤務しています。その他、東日本大地震の際には災害ナースとして現地に行き、災害看護も学ばせてもらいました。また、私の様々な経験の1つに2度の育児休暇があります。男性の育児休暇の取得は珍しいですが、育児や家事の学びと共に、仕事を客観的に見つめ直す機会にもなり、私の中ではとても大きな経験となりました。育児休暇から復帰の際、2回とも異動を伴いました。慣れない環境で働くには、医師や看護師同士と人間関係を作ったり、これまでと違った知識や業務を学ぶ大変さを感じました。様々な環境で経験を積んだことによって、看護展開や業務改善などの場で、俯瞰的に見えることが増えてきました。また、様々なアウトプットができることにもやりがいを感じるようになりました。スペシャリストのような卓越した知識や技術は持っていませんが、幅広く学んだ経験を日々の看護や指導に活かしていこうと思います。

9階西病棟看護師 狩野智恵看護師長

私は現在、放送大学で JCHO 特定行為研修の授業のみを受講しています。授業を受けるのは 20 年ぶりです（笑）。実践経験のない学生の頃は正直よくわからなかったことが、今再び学ぶことでこれまでの経験と知識が結びつき、より理解が深まっているのを実感しています。記憶が薄れてますが・・・フィジカルアセスメント・臨床推論など学生のころにはきっと学んだことのない？科目も、臨床にいる今だからこそすぐに活かせる知識・技術として興味深く学んでいます。実践力を高める内容ばかりですので興味のある方にはおすすめです。



平成 30 年度 大阪府看護事業功労者表彰式

平成 30 年度大阪府看護事業功労者表彰式が5月 12 日（土）にナースینگアート大阪で開催され、13 階西病棟・血液浄化センター酒井圭子看護師長が表彰されました。

この表彰は大阪府が長年にわたり看護業務に従事し、府民の健康維持・向上に貢献した看護職員の功績をたたえるものです。



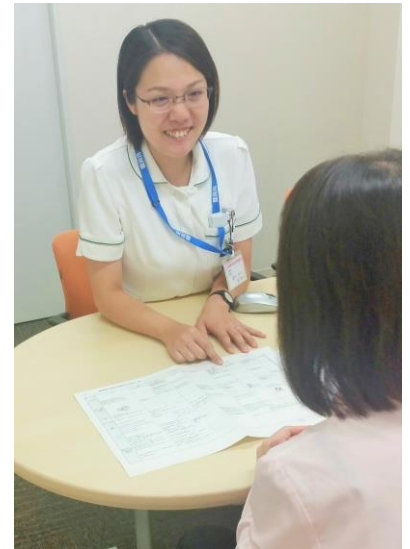


医療福祉相談室のご紹介

【入院支援を始めました！】

今年の4月より看護師2名で、入院予定の方への支援を開始しました。支援室に来られる患者様は、癌の告知後でショックを受けておられたり、初めての手術や退院後の生活への不安を持っておられます。そのような患者様が安心して入院治療にのぞめるよう、思いを傾聴しながら治療や入院生活に関する説明をしています。また、継続して看護ができるよう、そこで得た情報を病棟へ引き継ぎます。短時間で個別的な情報を得ることの難しさはありますが、病棟看護師から入院直後からスムーズに看護できたという話を聞き、嬉しく思います。今後も、患者様が安心して入院生活を送れるよう、外来、病棟、退院支援部門と連携しながら支援していきたいと思っております。

(医療福祉相談室 入院支援看護師 畠木 ゆい)



【退院支援について】



私たち退院支援看護師は、病棟勤務で学び得た看護の経験を活かしながら活動しています。住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、これからの療養先に対する思いや、退院後の不安などについてお話しを伺い、院内多職種・地域関係者の皆様と連携・協働しながら支援をおこなっています。難しいと感じることも多々ありますが、相談室スタッフと話し合いながら、よりよい支援につながるよう取り組んでいます。患者・家族が安心して、笑顔で退院の日を迎えることができた時には、やりがいを感じることができます。

退院後の生活にむけてお困りのことがありましたら、気軽に相談してください。(医療福祉相談室 退院支援看護師 西澤 佳代)

第19回ケア連携の会報告

5月30日に行われた第19回ケア連携の会は、参加いただいた方のご要望の中から、「がん化学療法の基礎知識」と「がん化学療法中のセルフケアのポイント」の内容について当院の医師と認定看護師より講演会を開催し、96名と多くの方の参加がありました。

CMのひとコマに「ながら治療」とあるように、がん治療をしながら地域で生活されている方も多く、参加者からはもっと日常生活上の具体的なセルフケア指導やサポート方法を知りたいとの声を頂きました。今後は、内容を絞った講演会の開催を計画していきたいと考えています。



(8階西病棟 副看護師長 中筋葉子)



きらり ☆新人研修終了のご報告



平成 30 年 3 月 8 日、平成 29 年度採用者が新人研修 410 時間を無事終了しました。最終日の研修では、全員が久しぶりに集合し、最後のプログラムでは一人ひとりが 1 年間の振り返りと 2 年目に向けての目標を発表しあいました。お互いの思いを聞いて自分だけが悩んでいるのではない、同期の頑張っている姿からパワーをもらったなどの声が聞かれました。その後は、看護部長より修了証書を受け取り、皆笑顔でホッとした表情でした。最後は全員で記念写真を撮りました。4 月からは 2 年目になり、後輩も入ってきました。気持ちを新たにさらに前進していきましょう。
(教育担当看護師長 村上 博美)



Instagram

インスタグラムはじめました！

#jchoosaka Osaka.jcho.go.jp/

JCHO Osaka Ns unit のアカウントで、JCHO 大阪病院看護部の公式 Instagram を始めました。若年層の間では病院を探すにも Google や Yahoo の検索機能を用いず、病院のホームページ見る機会は少なくなっており、Instagram 利用者の半数は情報収集手段に活用していると言われています。“看護師”や“看護職”に興味を持っていただけるよう、主に看護師の卒後院内研修やインターンシップ等看護部の取り組みや働く看護師の姿を紹介していきたいと思っています。また、今後投稿内容の募集も考えています。皆さん、Follow お願い致します。(手術室看護師長 藤原 千佳)



編集後記

今回は、地域を対象とした多岐に渡る活動やジェネラリストとして活躍する看護師について知ることができました。看護ケア推進便りもインスタグラムに負けないように、様々な切り口から看護を盛り上げていきますので、今後も楽しみに!!
(手術室看護認定看護師 高橋良和)